

第25回茨城県民歯科保健大会

平成28年11月13日（日）、茨城県歯科医師会館にて「健康は歯から～8020・6424をめざして」をテーマに、第25回茨城県民歯科保健大会が開催されました。式典では、茨城県 松岡保健福祉部長、茨城県歯科医師会 森永会長の主催者挨拶に続き、ご来賓の皆様から祝辞を賜りました。



歯科保健大会主催者挨拶(森永歯科医師会長)



8020高齢者よい歯のコンクール表彰

開会行事に続き、「**8020高齢者よい歯のコンクール**」の最優秀1名、優秀5名、シニア賞1名の表彰が行われました。受賞者は、80歳以上でほとんど自分の歯を失わずに健康な歯を保ち、他の模範となる歯科保健習慣を実践されている方々で、会場では、受賞者のお写真とプロフィールを映写し、日頃の生活習慣などを紹介しました。受賞者の生き生きしたお姿に、会場から大きな拍手が送られました。

次に、「**親と子のよい歯のコンクール**」の最優秀1組、優秀5組の表彰が行われました。受賞者は、親子ともに健康な歯を保ち、家族ぐるみで歯の健康づくりに取り組んでいる方々です。可愛らしいお子さんたちがステージに上がると、会場が笑顔に包まれていました。



親と子のよい歯のコンクール表彰



歯と口の健康に関するポスターコンクール表彰

次に、県内の小・中学校から応募いただいた「**歯と口の健康に関するポスターコンクール**」の小学校の部・中学校の部、それぞれ、知事賞、教育長賞、歯科医師会長賞、優秀、佳作の表彰が行われました。会場では、作品をスライドで映写し、その素晴らしい力作が映されるたび、感心する声に沸いていました。

続いて「**茨城県歯科保健賞 奨励賞**」として、食を通じた市民の健康支援活動のなかで積極的に歯科保健事業に協力している「**坂東市食生活改善推進協議会**」と、入所者の口腔ケアを積極的に行っている「**社会福祉法人北養会介護老人保健施設くすみ館**」の2団体に対し、今後の歯科保健の一層の取り組みを期待して、表彰状が授与されました。



歯科保健賞 奨励賞 表彰

受賞者全員の表彰の後には、よい歯のコンクール受賞者を代表して、親と子のよい歯のコンクール最優秀近様より謝辞が述べられ、「これまで健康な歯と口を保ってこられたことに感謝し、家族皆で8020を目指していきたい」との言葉がありました。ポスターコンクール代表の中学校の部知事賞 加藤さんは、「歯は輝く宝物なのでその思いをこめて描きました。これからも大事にしていきたい」と述べられました。



受賞者代表 謝辞(よい歯のコンクール代表)



受賞者代表 謝辞(ポスターコンクール代表)

表彰式に続いて、特別講演として「予防が大切～歯と口の健康づくり～」のテーマのもと、茨城県歯科医師会 森永和男会長による講演が行われました。歯の健康は全身の健康に大きく関わっており、よく噛むことが唾液の分泌を促し消化作用や免疫作用が亢進されること、歯の本数が多いほど、そして、入れ歯を使って噛めるようにするほど認知症になりにくいことなどについて、映像を使って説明しました。講演の最後には、「歯の健康を保ち、よく噛んで食べることが病気を予防して、医療費の抑制に貢献する。痛くなる前に定期的な口腔ケアを行うことが健康長寿につながる」と、熱いメッセージを発信し、大会は閉会となりました。



特別講演 茨城県歯科医師会 森永会長

会場前ロビーには、「よい歯のコンクール受賞者プロフィール」、「歯と口の健康に関するポスター作品」が展示され、受賞者の皆様のご家族と写真撮影をしたり、作品を熱心にご覧になったりする様子が見受けられました。また、茨城ご当地よ坊さん「みがこーモン」が会場で来場者をお迎えし、子ども達に大人気でした。



ロビー展示

歯と口の健康に関するポスター作品
よい歯のコンクール受賞者プロフィール



みがこーモンと記念撮影

受賞者、ご家族、関係者の皆様、ご来賓の方々の多数のご出席、誠にありがとうございました。

記事作成)8020・6424情報センター